

補助金評価シート

区分	重点	重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市地域提案型空き家活用事業 空き家を資源としたまちづくりや地域活性化を図るため、空き家の調査研究や空き家活用のためのリフォーム工事、跡地活用のための空き家除却工事を行う団体等に対し、その経費の一部を補助します。								
款・項・目	土木費 住宅費 住宅総務費								
所属等	建築部 住環境政策課 住環境整備室 電話025-226-2815								

年 度		平成30年度（1年目）		令和元年度（2年目）		令和2年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	3,400	国 1,000	3,400	国 500	3,400	国 500
	決算(千円)	1,800	国 0	900	国 0	2,400	国 0
補助率		10/10、1/2		10/10、1/2		10/10、1/2	
目 標		地域主体の空き家活用への取組み (平成30年度：8件 令和元年度：9件 令和2年度：9件) <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上	100.0%	8件				
	達成率 80%以上					88.9%	8件
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満			44.4%	4件		
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		事業を広報するためのチラシ、ホームページ、会報、総会資料等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 財政力の弱い団体（自治町内会等）を対象とするため、補助率10/10は変更しない <g～hにおける取組> 本事業の目的に沿う目標設定を検討する			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 本事業を活用してどのようなことが可能か等、さらに広報すべきであったと考える。地域から空き家に関する問題を伺った際に、本事業を活用して空き家対策を行うよう勧めることが少なかった。			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 年々空き家が増加し、所有者意識の啓発等、空き家の管理適正化が益々重要である。地域により分かりやすく、また広く知られるよう、他事業との統合等により整理し、空き家対策をなお一層推進する。					